

1. 品 名 : 2 クランクギヤッジベッド

2. 製品規格番号 : KB-655C

3. 概要

(1) 本ベッドは小児・学童用として、安全性を重視したベッドである。サイドレールは伸縮機能を備え、定荷重ばねにより、3段階の高さ調節が容易にできる。サイドレールを下げた状態でも介護者がつま先を入れられるスペースを確保し、患者へのアプローチを容易にする。背上げ・膝上げはクランクハンドルにより手動アクチュエータで作動させ、それぞれ単独で操作できる。

(2) 寸法

幅	103.9cm
長さ	208.3cm
ボトム高さ	59.5cm
サイドレール上栈高さ	64.9cm～141.2cm

4.各部の構成・機能

4.1 ボトム

- (1) ボトムは4分割の鋼板ボトムで構成する。
- (2) 鋼板ボトムは鋼板を主材とし、成形絞りにより強度を確保する。また通気性確保のため、それぞれの鋼板ボトム面に複数の通気孔を設ける。
- (3) 足ボトムは患者の症状によるベッドポジションが確保できるよう、2段階の角度調節機能を有する。
- (4) マットレスのずれ下がり・横ずれを抑制するため、マットレス止めを備える。

4.2 メインフレーム

- (1) 鋼材を主材とし、枠組みする。
- (2) サイドフレーム側面には、ヘッド・フットフレームの鉛直性確保のため、取付用ステーを設ける。
- (3) フット側下部に背上げ・膝上げ用のクランクハンドルを取り付け、使用しない時は折りたたんでハンドル受へ格納できる。

4.3 ヘッド・フットフレーム

- (1) アルミを主材とした支柱、栈を枠組みする。
- (2) 支柱の左右には、サイドレールの上下をガイドするガイドレールを設ける。ガイドレールは、定荷重ばねのエッジをカバーするように二重構造としている。内部にはサイドレール高さ調節のためのストッパーを設ける。
- (3) 支柱及び縦栈には傷防止及び金属の冷たい感触を無くすために樹脂製カバーを設け

る。

- (4) 左右下端に傷つき防止のためのゴム製バンパーを備える。
- (5) それぞれの上棧には、付属品のネームホルダーを取付けることができる。

4.4 サイドレール

- (1) 伸縮スライド式とし、ボトム面からの高さを十分に確保する。サイドレールの高さはボトム上面から約 800mm 以上を確保する。また、サイドレールをほぼボトム上面まで下げることが可能になり、下げた状態でも介護者が足を踏み込めるスペースを確保する。
- (2) 操作性向上・軽量化を考慮し、アルミ製とする。
- (3) 縦棧の間隔は安全寸法確保ため約 85mm 以下とする。
- (4) 上下両端には、樹脂製スライドガイドを設け、スムーズな操作を可能にする。
- (5) サイドレール操作を容易にするため、上部両端はヘッド・フットフレームに備えられた定荷重ばねと連結する。
- (6) 柵の上棧左右に操作レバーを 2 個設け、両手操作により確実かつ安全に 3 段階の高さ調節を可能とする。
- (7) セイフティロックを装着することで子供が容易に操作できないようにする。

4.5 キャスター

- (1) センtralロック双輪キャスターとし、車輪径 125mm とする。キャスター操作ステップにより、4 輪同時固定（首振り・回転）、4 輪自在の切り替えが行える。
- (2) ホイール部の材質はポリウレタン樹脂製で、耐磨耗性・耐老化性・耐油性に優れる。特にワックスによる劣化が少ない。

4.6 表面処理

- (1) メインフレームの表面処理は、電着焼付塗装及び粉体焼付塗装によるダブルコーティング塗装とする。電着焼付塗装はアクリル樹脂塗料を使用し、粉体焼付塗装はエポキシ樹脂塗装とする。平均的な塗膜厚みは 30 μ m 以上とする。塗装色はホワイトアイボリーとする。
- (2) サイドレールの表面処理は、電着アルマイト（シルバー色）とする。
- (3) ヘッド・フットフレームの表面処理は、電着アルマイト（アイボリー色）とする。